

館山

会議所だより

会議所は企業の要、地域の灯

2010 1

会員数1,003名

●昭和51年7月10日第3種郵便物認可 ●平成22年1月10日発行(毎月1回10日発行)第505号 ●発行所/館山商工会議所 ●編集発行責任者/専務理事 山本佳幸 ●〒294-0047 千葉県館山市八幡 821 ●TEL 0470-22-8330 FAX 0470-23-4011 ●印刷所/株式会社 集賢舎 ●定価 1部 20円 (購読料は会費に含まれています)



新年明けましておめでとうございます
新年のごあいさつ

- ◆『まず自立、そして連帯』
館山商工会議所 会頭 高橋弘之
- ◆『個』が光るイノベーションを応援
地域経済社会を変革する力に
日本商工会議所 会頭 岡村 正
- ◆市民と行政が一体となった『元気あふれるまちづくり』
館山市長 金丸謙一
- ◆『平成22年 知事年頭所感』
千葉県知事 森田健作

経済底流を読み解く 景気回復後の新しい経済
～「ニューノーマル」の背景～

経営セミナー開催のご案内

無担保、無保証人、低利子で融資

～マル経融資制度～

利子補給(1%)制度が創設されました!

マル経融資制度は、小規模事業者の皆様の経営改善に必要な事業資金を館山商工会議所の推薦により「(株)日本政策金融公庫」から借りられる国の制度です。

担保、保証人	不要
保証協会の保証	不要
貸付限度額	1,500万円
返済期間	10年以内 (*運転資金は7年以内)
利率	年1.85% (平成22年1月1日現在)
融資対象	小規模事業者：従業員20人以下 (商業、サービス業は5人以下)

※ご利用の際には各種要件がございますので下記までお問い合わせください。

問合せ 館山商工会議所 ☎22-8330

新年のごあいさつ

まず自立、そして連帯



館山商工会議所

会頭 高橋 弘之

新年おめでとうございませう。平成22年年頭にあたり、会頭としてのご挨拶を申し上げます。

昨年は、リーマンショック

を脱しても、年末に至りデフレ懸念、円高、株安と危機は続き、国民は雇用や所得減に不安を感じており、消費が上らない、国は税収減に悩まされるという状況であった。

不況に対する会議所の対応としては、「小規模事業者経営改善資金融資制度」枠の1500万円まで拡大、館山市よりの1%の利子補給の受入れ、定額給付金の支給に伴う『た・て・や・ま元気商品券』発行事業への協力があつた。

政治面での変化は、民主党政権の誕生だ。衆議院議員選挙での民主党の圧勝を受けて、8月31日、地方紙より商工会議所会頭としてのコメントを求められた。突然のことで頭の中で整理がつかず、最後に「政権党には、自由な経

済活動のためのルールづくりを望みたい」と発言した。少し意味不明で、その時から新年の挨拶で補足せねば、と思つていました。

私は人間が持つ「より健康に」とか、「より豊かに」「より便利に」「より楽しく」その他の願望を満たし、個人や国に活力を与えるのには、自由主義経済の仕組が一番良いと思つている。現実には世界の大半の国の人々は、市場経済が国際社会での経済活動の本流であり、競争が人類のしあわせ、進歩につながつて信じている。これ等の国の政治体制は議会制民主主義で、議員は選挙で選ばれているのは周知のことである。

重要なのは、その競争は情報的事前に公平に公開され、公正な競争ルールが確立され、行き過ぎは法でセーブされ、敗者には復活の機会が用意されていることだと思つている。どの政党が自由主義経済によ

り立脚しているかは自明の理だが、会議所会員の立場、意識も多様化しており、会頭の名でその公言は許さないと

さて、館山の昨年の経済環境に眼を向けると、地域振興に資するインフラ（道路、鉄道、電気、港、公園他）整備は確実に整つてきました。

城山の里見茶屋は4月4日（日）にオープン、会議所に提出された報告によると、来店客数もますますの数でした。8月1日よりのアクアライン通行料800円への値下げ効果もあり、館山湾花火大会は16万人という過去最高の人出であった。館山港多目的観光棧橋の整備も進んでおり、9月25日「渚の駅」物販、飲食部門出店者の公募に先行する概略説明会を主催した。

要望活動は、①4月8日、君津ICから富津竹岡ICまでの区間の4車線化、②4月23日、暫定2車線となつてい

る館山バイパスの富浦IC出口から那古交差点までの早期4車線化、③10月20日は、政権が変つた後、再度館山バイパスの早期4車線化などを、それぞれ国土交通省関東地方整備局と千葉国道事務所へ、関係都市の市長、観光協会会長、交通関係者、住民代表等と陳情に訪れた。

12月9日には、観光棧橋へ母艦より自衛隊内火艇が付けられる浮き棧橋の設置方要望書の市長への提出、同じく早期設置方請願の市議会への提出があつた。

こうしたインフラ整備を生かして、商工業者にはビジネスチャンスを取り込んでいた

次なる課題は、国の方針でもある中心市街地活性化への取り組みだと思つている。これはまず、市が定める都市計画マスタープランに教わらなければならぬ。その上でこれからどういう街づくりが望ましいか、地権者、会議所役員、事業者、行政その他でディスカッションする必要がある。

その際、参加者が世の動き、自分の事情、立場を加味して、自分はどうしたいという意向を言えるかが大事と思つています。今、行政も地方の振興についてには必死で動いているの

が肌で感じ取られる。会議所も協力は惜しみませんが、日商の岡村正会頭が「個が光るイノベーション」を運動方針としていて、まず個が自立しないと事は始まらない。自立した人達が連帯してこそあらゆる運動が活性化するのである。

さらに申しそえますが、街のインフラ整備が自分の業種や営業方針、投資計画などに合わない場合、「大黒柱には車をつけよ」との格言通り、商店街からの移動を考えねばならないケースも出てくる。御存じのように、商店街のタイプは生鮮三品を中心とした「最寄り品型」、服飾や趣味品を比較購買出来る「買回り品型」、海洋風とか城下町とかがある。

紙数も尽きましたが結びに、まず当所青年部が設立50周年に華をそえ、定住希望者をサポートする「おせっかいログラム」で青年部活動日本一となるYEG大賞を受賞されたこと、おめでとうございます。

そして激しい時代が続くのか、会員皆様方の御繁栄、御健勝を御祈念申し上げます。

おめでとうございませう。平成22年年頭にあたり、会頭としてのご挨拶を申し上げます。

あけましておめでとうございます

副会頭

小林義和



新年あけましておめでとうございます。ここ数年の厳しい経済環境が続く中で、新しい年を迎えましたが、いつの時代でも年の初めは、何か新しい希望を持って迎えたいと思っております。

新しい時代の到来を感じさせる年になりました。今年には館山湾大栈橋がまもなく完成を迎え、駅周辺には集合住宅が一棟、二棟と建設されつつあり、館山市の経済にも「変化」が感じられる年になりそうです。

私共の経営においても、今までの経験にとらわれず、できること、やるべきことから「change」を実践し、新しい変化が新たな商いのチャンスに繋がるように考えていきたいものです。

副会頭

西郷隆好



新年あけましておめでとうございます。昨年は、世界的な景気後退の影響で、私ども中小経営者を取り巻く経営環境も一段と厳しさを増した感がありました。年の後半から一部業種に回復の兆しもみられるようになりましたが、確かな足取りというには程遠く、今後も景気動向に予断を許さない状況が続きそうです。

また、高速道路の低料金化により、昨夏以降の来訪者が増加傾向となりましたが、生活道路の渋滞を招くなど、交通インフラ整備の必要性を浮き彫りにしました。さらに、多目的観光栈橋の供用が間近となり、後背地を含めた有効活用に取り組むことが地域経済の活性化に大きな影響を与えると考えられます。

見届申の活動を行う他、スケールメリットを活かし、会員の皆様へ税務・労働・金融等の情報を収集し、経営支援を実施いたします。

副会頭

宮澤治海



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

昨年、リーマンショックに始まり、ドバイショックに象徴されるように、世界的な金融危機の中で動いてきました。企業業績や雇用状況の悪化、消費の低迷と厳しい年でした。

3月には多目的観光栈橋も供用され、この利活用による地域の活性化も実現しなければなりません。館山の持つポテンシャルをひとつひとつしっかりと把握し、確実に仕掛けをしていかなければと考えます。

政治の場面においても、政権交代がありました。残念ながら好転、飛躍する、改善する等の兆しがなかなか見えない。

館山を取り巻く環境としては、高速道路の土日の1000円、アクアライの800円と来館の利便さは増しております。花火大会も16万人と過去最

高を記録しました。またその折、観客の方々から次回への期待を込めたご寄付も22万円にのびりました。

謹賀新年

館山商工会議所

名誉会頭

本間

会頭

高橋

副会頭

小林

西郷

専務理事

宮澤

常議員

山本

本間

高橋

行橋

瀧口

御子

廣井

佐藤

原田

川名

丸山

角田

外山

小滝

加藤

伊豆

三平

川合

青木

望月

鈴木

角田

職員

同

茂呂

喜克

明

之

弘

義

隆

海

治

佳

幸

民

亨

幸

重

徳

喜

俊

重

興

武

克

光

善

治

吉

夫

庄

周

克

和

金

敏

紀

夫

陽

一

真

己

衛

新年のごあいさつ

『個』が光るイノベーションを応援 地域経済社会を変革する力に



日本商工会議所

会頭 岡村 正

平成22年の新春を迎え、謹んでお慶び申しあげます。

『ビジョン』の共有は
大きな推進力

一昨年秋の米国金融危機に端を発した世界同時不況は、各国の共同歩調による金融政策や経済対策などにより最悪期は脱しつつあります。一方、わが国経済は、徐々に持ち直してきてはいるものの自律性に乏しく、特に中小企業や地域経済はまだまだ極めて厳しい状況が続いています。中国などの新興国の回復を背景に、輸出や生産に持ち直しの期待はあるものの、個人消費や設備投資などの内需は低迷しており、先行きはまだ楽観できません。

変化も顕著に表れる中、地球規模の温暖化の問題に加え、少子高齢化、財政再建、社会保障制度のあり方など国内の構造的な課題をわが国は抱えております。

昨年わが国は、十数年ぶりの政権交代という大きな変革の決断をしました。国民が政権交代を求めた根底にあるものは、社会の閉塞感や将来への危機感です。日本商工会議所は鳩山内閣に対して、新政権誕生後すぐに、喫緊の課題である景気・雇用対策について、会員の総意を取りまとめ、内外需一体の経済成長を実現する政策を講じ、着実かつ機動的に実行していただきたい、と要望しました。また、将来展望が開け活気に満ちた社会の構築に向けて、これからの国の姿をしっかりと示すよう求めたところです。明確な

ビジョンの共有こそが、活力あふれる明るい未来の実現に向けた大きな推進力となるものです。

科学技術創造立国を
目指して

新興国の台頭の中で、近々中国経済が日本の名目GDPを上回る予測もある中、わが国の相対的な経済地位の低下という現実を避けられず、日本が「世界第2位の経済大国」というアイデンティティを持つことができた20世紀は既に過去のものとなりました。21世紀は量と規模を求める時代ではありません。心の豊かさや質を追い求め、日本が持続可能な経済発展を遂げていくためには、環境問題の解決とともに生産性を向上させ、人や社会に新しい価値を提供していかなければなりません。

ん。日本の強みは、これまで世界に先駆けて多くの優れた独創的な技術とそれを生み出してきた高度な「人財」です。日本はその強みで勝負し、世界一の「科学技術創造立国」を目指すという明確な方向性を打ち出し、官民一体でこれに取り組みべきだと思えます。また、機動性と柔軟性に富む中小企業は、新たな産業分野への挑戦が最大の武器になります。大企業と積極的にパートナーシップを組み、消費者に支持される良質なものをつくる価値観を共有していくことも大切です。

政府には、質の高い科学技術の国を目指し、国際的な地位を確立するよう、企業支援はもとより、研究開発、教育などの必要な施策を打つことが求められます。

個性豊かな元氣な地域に

会頭就任時に私は、「それぞれの企業、個人がしっかりと光らなければ、地域、そしてその国は育たない」という考えの下に、「個が光るイノベーション」というスローガンを掲げました。全国515商工会議所の138万会員それぞれが、独自の強みを存分に発揮し、「個が光る」活動を展開することを大いに期待しています。それらの光が集

まり、個性豊かで元氣な地域がはぐくまれることはわれわれの望みです。

商工会議所には130年を超える長い歴史と実績に基づいた「地域経済社会を変革するイノベーションを絶え間なく引き起こしていく原動力」があると確信しています。変化しないことを恐れる、といった気概を持ち、商工会議所自身もイノベーションを図り、常に挑戦していかなければなりません。商工会議所はこれからも、中小企業の活力強化のためにしっかりと支援いたします。また、地域社会のコーディネーター役を担い、行政や企業、市民を橋渡しし、持続可能な生活基盤の構築に邁進します。

皆様とともに直面する難局を乗り越え、新しい時代に即応した存在感のある「頼りになる商工会議所」「なくてはならない商工会議所」であり続けるよう全力で取り組む所存です。

日商は、引き続き全国の商工会議所相互のネットワークをさらに強固にしながら、政策提言力を強化し、その実現に向け力を尽くしてまいります。皆様の一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。皆さまの新年のごあいさつをいたします。

市民と行政が一体となった

『元氣あふれるまちづくり』



館山市長 金丸 謙一

新年明けましておめでとう
ございます。高橋会頭をはじめ
館山商工会議所の皆様には、
爽やかな新春をお迎えの
こととお慶び申し上げます。

また、日頃より、会員の皆
様の強い団結のもと、本地区
の商工業の振興・発展にご尽
力いただくとともに、市政運
営に対して格別なるご理解と
ご協力を賜り、深く感謝申し
上げます。

館山市は、昨年『市制施行
70周年』という節目の年を迎
え、11月3日には、各分野に
渡って市勢発展にご尽力いた
だきました多くの団体や市民
の皆様をお迎えし、記念式典
を開催することができました。
誠にありがとうございました。

さて、我が国におきまして
は、昨年のリーマンショック
以降の世界的金融危機からの
景気回復を図るべく、エコポ

イントの導入やエコカー減税
並びに補助金といったような
景気刺激策が実施されてあり
ますが、『デフレ宣言』がなさ
れるなど、依然として厳しい
経済情勢が続いております。

そうした中、館山市におき
ましては、平成19年7月の館
山自動車道の全線開通など交
通アクセスの向上による首都
圏からの時間距離の大幅な短
縮と、休日の高速道路料金値
下げや東京湾アクアラインの
通行料800円化とが相まつ
て、週末を中心に交流人口が
増加するなど、明るい兆しが
現れてきており、地域ポテン
シャルが飛躍的に高まってお
ります。

また、本年3月末には、待
望していた他には例のない
『日本一』と言える長さ50
0メートルもの『多目的観光
栈橋』の完成が予定されてお

り、その基部ではターミナル
機能を担う館山港交流拠点
『渚の駅』も一部供用開始と
なることから、海と陸との結
節点となるこの場所を、館山
市の観光振興の核として、ひ
いては『安房地域の海へ、陸
への玄関口』として、各観光
スポットと結ぶ周遊プログラ
ムを構築するなど、地域全体
の観光客誘致を推進してまい
りたいと考えております。

さらに、平成17年よりスタ
ートした伊豆半島や伊豆大
島・東京を結ぶ超高速ジェッ
ト船による『早春の季節運航』
につきましても利用者が毎年
確実に伸びていることから、
今春も、2月から4月につか
けて、伊豆半島の河津桜、大島
の椿と南房総の花を結ぶ『海
のフラワライン』と銘打つ

た季節運航が予定されてお
り、海からのアクセスによる
観光客のさらなる増加が見込
まれています。

また、昨年、館山自動車道
から接続する国道127号線
が一部4車線化となりました
が、『都市計画道路船形館山
港線（通称・海岸道路）』に
つきましても、平成22年度完
成を目指して、歩・車道の整
備や電線共同溝整備、道路照
明や植栽工事等を実施するこ
とで、渋滞緩和と安全で快適
な道路空間が確保されること
になり、利便性が高まること
が大いに期待されます。

こうした取組みにより、交
流人口の増大や滞在時間の延
長が図られることになり、ひ
いては安房地域の中核都市
『館山』の賑わいづくりに繋が
るものと確信しております。

商工業者の皆様には、館山
市を取り巻くこれら一連の変
化を、『千載一遇のビジネス
チャンス』と捉えていただき、
NPOなどの市民活動団体や
学校・第一次産業関係者など
の各種団体と連携を図りなが
ら、経済活性化に向けた取組
みに積極的に参画されること
を期待しております。

我々行政といたしまして
も、『ふるさと館山』のさら
なる発展を願い、今後とも、
市民の皆様と一体となって、
『地域の個性を活かした元氣
あふれるまちづくり』を推進

してまいります。
そのためには、経済団体の
要であります館山商工会議所
並びに会員の皆様の果たす役
割は、大変重要であり、市民
の皆様のご期待も大きいもの
と考えております。

高橋会頭をはじめ会員の皆
様には、今後とも、館山市に
おける『商工業の振興』、『魅
力あるまちづくりの推進』に、
なお一層のご尽力をいただけ
ますようお願い申し上げます。
結びに、館山商工会議所の
益々のご発展と、会員の皆様
のご健康とご多幸を心からご
祈念申し上げます。

本・教科書・文具・ファンシー



MIYAZAWA

TEL 0470-23-7771

●営業時間 9:00AM~8:00PM
(年中無休)

新年のごあいさつ

平成22年 知事年頭所感



千葉県知事 森田 健作

新年明けましておめでとう
ございます。

館山商工会議所並びに会員
企業の皆様には、健やかに新
春をお迎えのことと心からお
慶び申し上げます。私は、

千葉県には成田国際空港、東
京湾アクアライン、全国屈指
の農林水産業や商工業、風光
明媚な自然など、限らないポ
テンシャルがあると繰り返し
申し上げてまいりました。

特に昨年、アクアライン通
行料金の引下げを早期に実現
できたのは、ひとえに皆様を
はじめ、千葉県民に力がある
からこそであり、まさにオー
ル千葉県の實力に他なりません。

現在、交通量は順調に伸び
ており、観光など様々な方面
に効果が現れてきています。
この効果をいかに活用し、地
域の振興に結びつけていく
か。本当に大切なのはこれか
らです。

県では、「東京湾アクアラ
イン活用戦略」を策定し、市

町村や民間事業者、地域の
方々と一体となって観光産業
の振興、企業立地の促進、関
連道路網の整備など、戦略的
に取り組んでまいります。

一方、県内の経済・雇用情
勢は未だ明るさが見えず、中
小企業の皆様方にとっても厳
しい局面が続いていることと
思います。

県といたしましても、国か
らの交付金を基に造成した基
金を活用して雇用を創出する
ほか、制度融資の貸付枠を過
去最大に拡大するなど、「千
葉県総合経済対策」に基づき
取組みを、全力で推進してい
く所存です。

また今年度、県では政策の
基本的な方向を総合的・体系
的にまとめた県政運営の基本
となる「千葉県総合計画」を
策定することとしています。
昨年11月に発表した原案で
は、「経済の活性化と交流基
盤の整備」の柱の中で「中小
企業の経営基盤の強化」を施
策の一つに掲げました。

「中小企業の元気が千葉県
の元氣」を旗印に、県の中小
企業支援施策の基本的な方向
を定めた「ちば中小企業元氣
戦略」についても策定から3
年半が経過し、現在直面して
いる課題に沿った、より実効
ある戦略へと見直し作業を進
めています。

中小企業の皆様と手を携え、
県内経済の活性化を強力に進
めていくための方向性を打ち
出したいと考えています。

今年の干支は寅(虎)です。
威風堂々の貫禄と、鋭い眼光
を持つ虎。まさに力強さ、確
固たる信念の象徴です。今年
は、虎のように力強く、躍動
する年にしようではありません
か。

私も「日本一光り輝く千葉
県」を目指して、全力で頑張
ってまいります。
終わりに、本年が、皆様にと
って、希望に満ちた年とな
ることを心から祈念申し上げ、
新年のあいさつといたし
ます。

おかげさまで
100万件
【終身医療保険】
保有契約件数

いまほど、
医療保険を選ぶのが
難しい時代は
なかったのかもしれない。

※2008年10月、アクサ生命の「終身医療保険」全種類の保有契約件数の合計が100万件を突破いたしました。
※ここでいう「終身医療保険」とは、「標準給付金付個人終身医療（医療保険（無配当）」、「終身医療保険（03）」、「入院保障保険（終身型）」を特定し終身医療保険の商品を指しています。

詳しくは、ホームページへ www.axa.co.jp/life/

アクサ生命を選ぶこと。
それは、日本の医療保険の
パイオニアとしての
実績と先進性を選ぶこと。

千葉支社木更津営業所
〒292-0838 木更津市潮浜1-17-59
TEL0438-37-9954

アクサ生命保険株式会社

redefining / standards

**福祉制度キャンペーンで
当所が全国1位を獲得!**

商工会議所共済制度の普及・推進を目的とする全国組織ベストウィズクラブ（全国の商工会議所とアクサ生命で運営）では、会員事業所の福祉向上を支援すべく、平成21年10～11月に『福祉制度キャンペーン』を開催した。

当所は、会員の皆様の絶大なご支援のお陰で、Aグループ（会員数1千未満）全国第1位として特別表彰を受けることができました。皆様のご協力にありがとうございました。



経済底流を読み解く◆◆◆ 景気回復後の新しい経済 「ニューノーマル」の背景

景気回復後の経済について、最近、専門家が「ニューノーマル（新しい正常な状態）」という言葉をよく使っている。

意味するところは、世界経済は、どこかの段階でリーマン・ショックによる混乱から脱却するのだが、その後の正常な経済の状態は、かつての高い成長を誇った好況ではなく、むしろ、今までよりも低い成長＝新しい正常な状態になることを予想しているのだ。

ある。もつとありていにいと、「当分、以前のような好景気を期待することはできませんよ」ということだ。

なぜ、かつての高成長には復帰できないのか？それは、年率5%を超えるような高成長自体が、一時的な現象であり、一時の「あだ花」だったといっているのである。

サブプライム問題が表面化する前、特に2003年から2006年までの4年間の景気は、かなり好調であった。その恩恵に浴して、わが国の景気も緩やかではあるが、しっかりと足取りで歩んでいた。

問題は、その好景気が米国の家計部門の借金による過剰消費によって支えられていたことだ。当時の米国の会計は、借金によって給料以上のお金を使って消費をしていたのである。そのために、米国経済が堅調な展開を示し、それに伴って、わが国や中国をはじめとする諸国の輸出が伸び、景気が上昇傾向をたどること



ができたのである。

ところが、サブプライム問題とそれに続くリーマン・ショックの発生により、米国の家計部門が借金を続けることができなくなった。現在は、その借金を返済しているところだ。

家計が借金の返済を進めるためには、消費を削ってお金を捻出しなければならぬ。その結果、消費が抑えられる。米国の家計が背負っている借金を考えると、それを返済し終わるまでには、まだ時間が掛かると見た方がよい。

その間、米国の消費は頭打ち傾向を示すとみられる。世界経済は、低成長の道をたどるしかない。

つい最近まで、多くの企業は高成長が続くことを前提に

して事業規模を拡大し、需要が順調に伸びることを想定して、設備や人員の手当てを行ってきた。ところが、リーマン・ショックなどによって、継続的な高成長が正常な経済状態ではないことが証明されてしまった。現在は、必要以上に積み上がった人員や設備の調整を行っているところだ。

さらに大きな問題は、これから景気が回復しても、過去のような好況を期待するのは難しいということだ。借金により捻出していた米国の過剰消費がなくなる分、現在の新興国には、補えるだけの実力はまだない。新興国が世界経済を押し上げる実力をつけるまでには、まだ時間を要すると考えた方がいい。その間、世界経済はおそらく巡航速度である3%台の成長が続くと見られる。

世界経済の成長が低下すると、わが国の経済は影響を受けることを免れない。新興国向けの輸出など一部の分野を除いて、高い成長率を享受することは難しい。企業経営者は、景気回復後の経済に過大な期待を持たない方がいい。少なくとも、ここ数年は低成長が続くと見て、計画を立てておく必要があるだろう。

スイーツポテト

総ぶさそだち

房洋堂

全国銘菓加盟店

千葉・市原・木更津・君津・富津・館山・鴨川

TEL0470(23)5111

<http://www.boyodo.co.jp/>

千葉県菓子工業組合
統一銘菓

物流コストを見直しませんか!?

房総の物流プランナー&パートナー

AwaExpress

安房運輸株式会社

電話:本社 0470-22-0165
館山 0470-27-6151

<http://www.tokyo-bay.ne.jp/~awa-exp/>

- ・路線、地域内宅配
- ・引越、貸切、積合わせ
- ・コース配送、他

経営セミナー開催のご案内

「皆様の「ご参加をお待ちしております！」

館山市商業協同組合（代表理事 廣井武雄）では、事例に学ぶ「地域の特性を活かした店づくり」をテーマに1月26日(火)経営セミナーを開催する。「これからの商売の鉄則」「商売における五つの素朴な疑問」「経営におけるこれからの指針」「地域特性を活かすとは？」といった内容について専門家をお招きし、事例を交えながら「講演いただきます」。

組合員はもちろん、当所会員の皆様にも「ご参加いただけますので、参加を希望される方は事業所名・参加者名を「ご記入いただき、FAX(22-83330)にてお申込下さい」。

※定員になり次第締め切りいたします。

〔日時〕平成22年1月26日(火) 14時～

〔場所〕館山商工会議所 会議室

〔内容〕事例に学ぶ「地域の特性を活かした店づくり」

〔講師〕コンサルタント会議所(株)サ・スタッフ

代表取締役(中小企業診断士) 正根寺 宏 氏

〔参加費〕無料

商店会連合会が短期集中の講習会を開催!

館山市商店会連合会(会長 加藤喜久夫)では、「お店を繁盛させるためのマーケティング勉強会」を開催する。この講習会は、館山市商店会連合会に加盟する商業会の会員事業所を対象として、短期間で集中的に(3回)開催いたします。各回参加でも理解できるよう内容構成となっておりますので、皆様の「ご都合に応じて」ご参加ください。

〔日時内容〕◆第1回 開催日：平成22年1月26日(火)19時～21時

◆第2回 開催日：平成22年2月2日(火)19時～21時

◆第3回 開催日：平成22年2月9日(火)19時～21時

◆第3回 開催日：平成22年2月9日(火)19時～21時

◆第3回 開催日：平成22年2月9日(火)19時～21時

◆第3回 開催日：平成22年2月9日(火)19時～21時

◆第3回 開催日：平成22年2月9日(火)19時～21時

◆第3回 開催日：平成22年2月9日(火)19時～21時

◆第3回 開催日：平成22年2月9日(火)19時～21時

◆第3回 開催日：平成22年2月9日(火)19時～21時

◆第3回 開催日：平成22年2月9日(火)19時～21時

◆第3回 開催日：平成22年2月9日(火)19時～21時

宝石は心の安らぎ

メガネと共に快適生活



宝石・メガネ **コバヤシ**

館山本店 22-8881 館山銀座店 23-5511 ロックシティ店 24-2010

天保年間創業・通産大臣賞受賞・全国伝統的工芸品
千葉県指定伝統的工芸品(小糸の煙火)

(有) 福山花火工場

代表取締役 福山 一郎

千葉県君津市外箕輪 4丁目10番20号
☎0439 (55) 7033

充実した設備と細かい
サービス～大型印刷機
ラインナップ

- チラシ・パンフレット印刷
- オンデマンド印刷
データ入稿～印刷～製本
- NEWショッピング(販促媒体)
毎月第3日曜日発行(新聞折込)
- ぜひご覧ください!

株式会社 集賛舎

館山本社・館山工場
館山市山本226 〒294-0014
電話0470-22-2277 FAX0470-23-2278

千葉支社(経営本部)
千葉市中央区生実町2498-8 〒260-0813
電話043-300-8661 FAX043-300-8665

東京オフィス
東京都港区元麻布3-10-8 〒106-0046
電話03-5414-6567 FAX03-5414-6568

会議所窓口相談



商工相談日
金融相談日

毎週水曜日

毎月第3金曜日
・日本政策金融公庫(10時～12時)

(電話相談随時
お気軽にご連絡下さい)

法律・税務・商工相談

- 法律 千葉県産業振興センター
- 税務 齊藤 晃夫 先生
早川 進 先生
小林 康男 先生



ご相談のときは事前にご連絡下さい。